

新潟市美術館

- 1 改修工事の概要
- 2 運営面の更新
- 3 開館 40 周年



新潟市美術館 全景

2025 年 8 月 30 日リフレッシュオープン



開館 40 周年記念ロゴ

1 改修工事の概要

新潟市美術館は、2024 年 10 月より改修工事のため長期休館しておりましたが、2025 年 8 月 30 日に再開館します。2015 年以来 10 年ぶり、4 回目となる今回の改修は、特に次の 2 点を主眼として行われたものです。

（１）美術館建築としての機能・性能の維持と向上

・空調設備

美術館では、作品保全のため、年間を通じて恒温恒湿環境（温度・湿度を安定させる空調システム）が求められます。特に今回は、企画展示室・収蔵庫の空調機器を全面更新し、監視・制御システムも更新するなど、いっそうの性能向上と省エネ化をはかりました。

・照明設備

展示室では、作品の劣化を避け、かつ最も美しく見せるための照明が求められます。前回改修（2015 年）に続く今回の工事で、全館の LED 化が実現されました。特に企画展示室では、照度や色温度の微細な調整が可能となり、自然光に限りなく近い色を再現し、明るさにムラのない国内随一の水準が達成されました。

・防災設備

公共施設としての美術館には、建築基準法や消防法など、随時改正される法令の定める基準に準拠することが求められます。今回は、シャッター、エレベーター、火災報知器などの設備を更新しました。

（２）前川國男による建築作品の意匠保全・長寿命化

・竣工当初の意匠の維持・保全

竣工当初の意匠を、可能な限り維持しました。特に、前川建築の特色である外壁の打込タイルは約 12 万 7 千枚に及びますが、その全てについて熟練工がハンマーで叩く「打診調査」を実施。交換・補修用に再制作されたタイルは、本来の色調や質感を可能な限り再現したものです。

・長寿命化のためのメンテナンス

打放しコンクリートの外壁にはクラック補修や防水塗装、サッシ等の建具には再塗装を施し、外観の保全を徹底しました。屋上の防水工事などもあわせ、これらは建物の長寿命化への取り組みでもあります。

* 前川國男（1905－1986）

父の任地であった新潟市内（現在の中央区学校町）に生まれ、東大卒業後ただちに渡仏、巨匠ル・コルビュジエに師事。我が国にモダニズム建築を導入、特に戦後は美術館をはじめ公共建築の大作を数々手掛けた。帰国後の第 1 作『木村産業研究所』（弘前市、1932 年）が国指定重要文化財となるなど、その評価は近年ますます高まっている。一体整備された当館と西大畑公園は逝去前年の竣工、建物内外を有機的に結びつける前川独自の公共空間の到達点。

2 館運営面の更新

（１）所蔵品検索システム

新潟市美術館の収蔵作品情報を検索できるデータベースシステムを WEB 上で公開しました。今後も随時更新・追加をしていきます。新潟市新津美術館の所蔵品と合わせて、横断的に検索することも可能です。 https://jmapps.ne.jp/ncam_collection/

（２）キャッシュレス対応

チケットや図録のご購入の際にご利用いただけるキャッシュレス決済を導入。クレジットカード、二次元コード決済など主要な電子マネーに対応します。

（３）みんなにやさしい美術館

新潟市美術館は、人と文化、人と人をつなげるために、できるところから工夫や努力を重ねていきます。小さなお子さんがある、障がいがあるなど、何らかの理由で来館を迷っている方は、ご来館の際の心配ごとをお気軽にお知らせください。

- ・授乳室をご利用の方は受付にお申し付けください（無料・予約不要）
- ・ベビーカー・車椅子を貸し出しています（無料・予約不要）。
- ・館内の各受付には筆談ボードがあります。
- ・オストメイト対応バリアフリートイレが1階にあります。
- ・ベビーシート・ベビーチェアが1階トイレにあります。
- ・企画展「長坂コレクション はじめましての西洋絵画」では手話通訳付きのギャラリートークを行います。



3 開館 40 周年記念展

(1) 開館 40 周年記念 ほぼせんてんてん、

2025 年 8 月 30 日〔土〕～ 9 月 28 日〔日〕



40 周年の最初の展覧会では、美術館内に蓄積されてきた様々な「モノ」を、1,000 点目標に展示します。巨匠の優品、心にしみる名作、滅多に展示機会がないもの、そして作品ではないモノ（長年使い込まれてきた什器や備品、今回の工事で採集された建物のカケラなど）を、多彩なテーマでご紹介します。

鳥居敏文《ロバにのる少年》1937 年、カンバスに油彩

* 展覧会のタイトルは「、」で終わります。読み方は「ほぼせんてんてんてん」です。

* 初日はミニコンサート（後述）を開催します。

(2) 開館 40 周年記念 長坂コレクション はじめましての西洋絵画

2025 年 11 月 1 日〔土〕～ 2026 年 1 月 12 日〔月・祝〕



長野市在住の所蔵家・長坂 剛（たけし）氏のコレクションより、17 世紀のバロック美術と 19 世紀の近代絵画を中心に 58 点の油彩画を紹介します。バロック美術の栄えたスペイン、イタリア、フランス、そして、フランドル（現在のベルギーやオランダ）、イギリス、ロシアの近代絵画も加え、ヨーロッパ中を旅する感覚でお楽しみいただける展覧会です。

主催：新潟市美術館、新潟日報社、協力：長坂バロック株式会社

オノリオ・マリナーリ《聖チェチリア》制作年不詳

(3) 開館 40 周年記念 路傍小芸術

2026 年 1 月 24 日〔土〕～ 3 月 22 日〔日〕



地方公立美術館は、その街と人々に、どのように関わるができるのでしょうか。この重い問いに対して、皆さんの心に触れるような回答の一つを目指す展覧会です。長らく街の片隅にあって、多くの人に見つめられてきた、無名の人々による造形作品の数々を紹介します。小中学校などのセメント彫刻・銭湯の壁画・新潟地震を描いた児童画など。当館だけで開催される自主企画展です。

《望みの光》（新潟市中央区・湊みどり公園、新潟市立湊小学校跡地）

取材のご案内

(4) コレクション展Ⅰ 実りの季節に

2025 年 10 月 15 日〔水〕～ 2026 年 2 月 23 日〔月・祝〕



古来人間は狩猟や収穫に際し、天に祈り感謝を捧げてきました。その営みは、美術の生まれた一つのルーツでもあります。収穫の秋に寄せて、実りをテーマとした風景や静物はもちろん、下絵から本画に至る、制作の成熟の過程にも注目。美術館に所蔵される作品もまた、美術館活動のひとつの「成果」としてひもときます。

ジャン＝フランソワ・ミレー 《労働への出発》1863 年、エッチング

(5) コレクション展Ⅱ 路傍風景術

2026 年 2 月 27 日〔金〕～ 3 月 31 日〔火〕



19 世紀以降の近代芸術が、社会と歴史の中にある自分自身を深く問い直したものであるとしたら、近代絵画の核心は「風景画」にあると言えます。企画展「路傍小芸術」開催の機会に、路傍の風景を様々に描いた作品を集めます。直球からクセ球まで、いずれも「風景を見る自分」の自画像として見直す試みです。

長谷川秋一郎 《風景》1921 年、カンバスに油彩

4 記念イベント

2025 年は当館の開館 40 周年、当館を設計した建築家・前川國男の生誕 120 年にも当たります。この記念の年のプログラムをご案内します。

(1) ミニコンサート

2025 年 8 月 30 日〔土〕 2 回公演 1 回目；13:50～14:10 2 回目；16:00～16:20

演奏：廣川抄子（ヴァイオリン）、金子由香利（フルート／ピッコロ）、齊藤晴海（ピアノ）

会場：新潟市美術館 エントランスロビー 申し込み不要 参加無料

公共ホールも多数手がけた前川國男は、大の音楽好きでした。彼が愛した楽曲もまじえてお届けします。

(2) 松隈洋氏 レクチャー+建物ツアー「前川國男と新潟市美術館－生まれ故郷に残した遺作をめぐって」

2025 年 9 月 13 日〔土〕 14:00～15:30（開場 13:30）

会場：新潟市美術館 2F 講堂

●レクチャー：13:30～15:00（13:00 受付開始）

* 事前申込制、定員 80 名、要当日観覧券

●館内ツアー：15:30～16:30（15:00 受付開始）

* 事前申込制、定員 20 名、要当日観覧券

申込み方法：右記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申込み

締め切り：8 月 29 日〔金〕 17:00（応募多数の場合は抽選）

* 講演会のみ、館内ツアーのみの応募も可能です

松隈洋（まつくま・ひろし） 神奈川大学教授、京都工芸繊維大学名誉教授。1957 年兵庫県生まれ。前川國男のもとで設計業務に携わった経験もある。2019 年『建築の前夜 前川國男論』（みすず書房 2016 年）により日本建築学会賞（論文）受賞。『未完の建築 前川國男論・戦後編』（同 2024 年）はその続編。



(3) 学芸員による美術館見学ツアー

2025 年 9 月 27 日〔土〕 14:00～14:30 会場：新潟市美術館 館内

事前申込制、定員 20 名、要当日観覧券

申込み方法：右記の二次元コードより必要事項を記入のうえ申込み

締め切り：9 月 12 日〔金〕 17:00（応募多数の場合は抽選）

前川建築のみどころや改修のポイントをお話しながら、ふだんは立ち入り禁止のバックヤードまでご案内。



(4) リーフレット『前川國男・新潟市美術館・西大畑公園・1985』監修：松隈洋氏

新潟市美術館と西大畑公園をはじめ、前川國男をコンパクトに紹介する無料配布の媒体を新編集。

取材のご案内

(5)『新潟市美術館だより WAVE』リニューアル

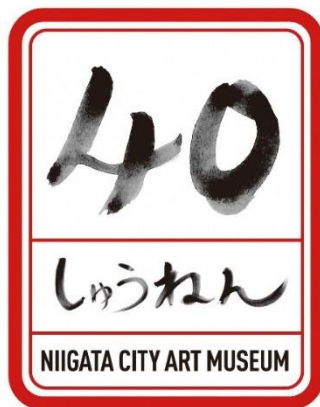
新しいデザイン、より読み応えのある内容。当初の建築から4度にわたる改修工事まで全ての現場に立ち会った前川建築設計事務所・濱興治氏、当館コレクションの選定に長年関わった美術評論家・原田光氏の寄稿など。

(6)「スープとお茶 ひとさじ喫茶室」オープン



再開館にあわせて新しいカフェがオープン。旬の素材を使ったスープ、お惣菜を盛り合わせたランチプレート、お茶やお菓子を提供します。こころも体もよろこぶひとときをどうぞ。

(7) 開館 40 周年記念ロゴ



手書き文字は新潟市内在住、今年 10 歳になる小学生。
当館の開館記念日（1985 年 10 月 13 日）と同じ 10 月の生まれです。

* 40 周年記念ロゴ、当館全景写真などは当館 WEB サイトより高精細画像のダウンロードが可能です。

新潟市美術館の WEB サイト、SNS は随時更新中。

ぜひ取材をお願いします。

TEL : 025-223-1622

museum@city.niigata.lg.jp